中央公民館だより

そうぞうながと

2021
8
August

発行｜長門市中央公民館運営協議会　広報担当
TEL ｜0837-23-1181　　FAX｜0837-22-3648

中央公民館広報紙
No.168

ブラジル・長門市 食の国際交流プロジェクト

6月19日(土)、中央公民館にて「ブラジル・長門市 食の文化交流会」が開催されました。

この交流会は、オリンピックの7人制女子ラグビーブラジル代表チームが7月に長門市で事前キャンプを行うことから、おもてなし機運を盛り上げようと、市内に居住する外国人への日本語講座を行う「ながと日本語クラブ」と、食のまちづくり団体「チームNGT」が主催しました。

市内居住のブラジル出身者の皆さんは、ブラジルの家庭料理「フェジョアーダ(肉と豆の煮込み)」と「ケージャジーニャ(ココナッツの焼き菓子)」とブラジル産コーヒーを、チームNGTは長門市産の鶏肉を使ったラーメン「ながとりめん」と唐揚げ「ながチキ」を調理しました。

また、地域おこし協力隊の江島隊員による「やきとり」が振る舞われ、お互いの国の食を通して楽しく交流を深めることができました。

料理の感想を話しながら
みんなで美味しくいただきました

こども環境クリーンアップ活動 青少年育成市民会議

地域の青少年健全育成の活動として、携帯電話端末販売店、深夜営業施設、図書類自動販売機への立ち入り調査を実施しました。様々なチェックポイントについてどの店舗もとても協力的に回答していました。

学校運営協議会 教職員と熟議(深川中学校)

本市では、平成20年度からコミュニティ・スクールの取組が始まり、県内でも先駆け的に市内の全小・中学校を指定校として取り組んできました。コミュニティ・スクールには学校運営協議会が設置されています。この会議では、学校の課題等について、地域住民、保護者、教職員の三者が同じテーブルについて協議することで、子どもの育ちや学びについての当事者意識をさらに高め、地域の課題解決や振興にも大きな役割を果たすと期待されています。

地域協育ネットの活動拠点である公民館からも所管の各小・中学校の運営協議会委員として関わっています。

7月16日(金)に開催された第2回深川中学校運営協議会では、生徒の近況報告のあと、「地域でめざす子ども像の実現に向けて」をテーマに教職員との熟議を行いました。地域行事等でもっと地域の方々のあたたかさに触れる、授業交流により大人と共に学ぶ機会をつくる、SNSに関する家庭への啓発を強化するなどの意見が出されました。

地域でめざす子ども像

○ふるさと長門を愛し　あいさつでつながる元気な子
○自分の思いや考えを伝えられる素直な子

「地域でめざす子ども像」をもっと具現化するためはどうすればいいのか・・・。3つのプロジェクトチームに分れて教職員と委員とで熟議を行いました。その後プロジェクトチームごとに報告・共有を行いました。

わくわく土曜塾
くじら食文化にふれる

6月26日(土)、わくわく土曜塾で「長門大津くじら食文化を継承する会」の役員の方々を招聘して通のくじら文化のお話やくじらのヒゲや歯、頭がい骨の実物に触れる体験をしました。また、くじら料理のクイズをしたり捕鯨船の模型や図面を見たりするなど、子ども達は終始興味津々の様子でした。ふるさと長門が古式捕鯨ゆかりの地であることをあらためて実感できた貴重な機会となりました。

「硬くて、ざらざらしてる～！」

「わぁ～大きい！どこの歯かな？」

わくわく土曜塾
シーカヤック体験

7月10日(土)、わくわく土曜塾で油谷青少年自然の家へ行き、親子でシーカヤック体験をしました。前日に大雨が降ったため開催が危ぶまれましたが、当日少し雨は降ったものの、風がなく波も穏やかという、シーカヤックにはちょうど良い天候になりました。

油谷青少年自然の家の職員の方から漕ぎ方の指導を受け、浜から少し離れた所にある小島までシーカヤックを漕ぎました。またシーカヤックに乗らない時間には、浜辺で砂遊びをしたり、ライフジャケットを利用して海に浮かんでみたりと、家族や塾生同士で思い思いに海を楽しむ様子も見られました。

地域協育ネット
地域と学校が連携

子どもたちの学びや育ちを地域ぐるみで支援する仕組みの「地域協育ネット」を活用した学習が小・中学校で展開されています。ゲストティーチャーとして地元のエキスパートを招聘し、教育活動の質を高めています。

今回は、深川小学校の日本文化クラブの活動の一コマです。

「書道」では市内で書道教室も営む山本玲子さんを招聘し、漢字の成り立ちを知り興味をもって書道体験ができました。

「箏」の体験では、本公民館の「ストゥリングス」で活動している堀田隆子さんらを招聘し、簡単にできる曲で箏の演奏を楽しみました。

年間を通じて学校から種々30件近くの依頼を受け、公民館で調整をしています。

伝えたい「ふるさと深川」シリーズ124

今市第3ため池（湯本小河内地域）

深川地区の「ため池」を掲載するために、平成31年2月18日長門市役所農林課耕作係末永係長さんに次のため池を案内していただいた。

崩の河内（つえのこうち）第1・第2ため池「上川西区」、浴山（えきやま）第1・第2ため池「開作地区」、今市第3ため池「湯本小河内地区」。

崩の河内・浴山ため池とも山の中腹にあり、遠くに青海島が見える眺望にあり大自然を感じる処にある。

今市第3ため池は、直ぐ近くに住宅があり、子供がため池で釣りをしていた状況で、全く今までのため池とは違和感がある。住宅地が近いせいか、危険の看板がやたらと目につく。

所在地は湯本小河内地区。

貯水量は4000㎥

受益面積は1.2ha

受益戸数6戸

深川地区のため池は、現在70個存在。

長門郷土文化研究会

顧問　藤井文則

わが家の宝子

境谷（さかいや）　葵晴（あおは）さん（1歳5カ月）

好きな遊びは、クレヨンでぬりぬりすることと散歩に行って石や花を拾うことです。
最近は特にお掃除が大好きで、掃除機をかける大人の後ろでクイックルワイパーをかけながら追ってきます。
笑顔を見るとこちらまで幸せになれるよ。
これからも楽しく過ごそうね。

今月のうた

山茶花クラブ

青信号新宿駅へ人と蟻　中原　清

点と線女王蟻の宮参り　中村　瀧江

蟻ほどの小さき命に悟さるる　岡田フジエ

長門短歌会

文字通り言った言わないエゴ通す　一日無言笑える私　佐貫　勝代

伝説のバレエダンサー読破して　感動のうずの中にまだいる　原田　満江

新しき事業を起こす娘らの　人生冒険　エールを送る　小林美由紀

編集後記

▼梅雨明け宣言を待っていたかのように一斉に鳴きたてるニイニイゼミ。その声は、蝉が長年土の中で過ごし、地上での短い命を燃やし尽すように奏でる子孫繁栄の求愛行動とのこと。▼コロナ禍の中、東京五輪が開幕した。世界のアスリートたちが魅せる最高のパフォーマンスに感動する毎日。こちらも期間限定の晴れ姿。どちらにも「がんばれよ～！」と応援せずにはいられない。

中央公民館　８月の行事予定

2日(月)　夏休みおたすけ講座「食育」
4日(水)　親子でリトミック
6日(金)　夏休みおたすけ講座「感想文」
7日(土)　キッズエクササイズ（3B体操）
7日(土)　子どもクラブ
18日(水)　親子でリトミック
21日(土)　キッズエクササイズ（3B体操）

「第４２回長門市中央公民館まつり」
９月２５日（土）・２６日（日）開催
詳細は９月号でお知らせします

深川地区の人口

世帯数	6,031	（-13）
男　性	5,835	（-18）
女　性	6,746	（-11）
計	12,581	（-29）

（R3年7月1日現在）